

第5章 重点施策

第4章で示した施策のうち、基本理念・スローガン「みつけよう マイスポーツ ひろげよう 元気な笑顔」の具現化を図り、市民が元気な笑顔に溢れて、健康で幸せに暮らすことができるよう、重点的に推進する施策を掲げます。

重点施策 1 ラジオ体操の普及啓発

ラジオ体操は、誰でも手軽にできる体操です。スポーツをはじめるきっかけづくりや、健康づくりのひとつとして、ラジオ体操の普及啓発に努めます。

正しく効果的なラジオ体操ができるよう、スポーツ推進委員との協働による「おはよう！ふれあいラジオ体操会」事業や実技講習会の充実、小中学校をはじめとした関係団体への働きかけ、教本の作成などを行い広く普及啓発に努めます。

【関連施策：第4章スポーツ振興施策】

- 1 「する」スポーツの振興⇒（1）生涯にわたりスポーツに親しめる環境の充実
 - ①ラジオ体操の推進
 - ⑤スポーツ情報の提供充実

重点施策 2 企業とのスポーツ連携の強化

市内には、全国や世界で活躍する地元企業のスポーツチームがあります。選手やチームに関する市民への周知やジュニア世代の競技力強化のためのスポーツ指導の充実など、企業との連携強化に努めます。

市と地元企業スポーツチームとの補完関係の強化のためのホームチームサポーター事業の創設や、スポーツ大会の充実のため、協賛・ボランティアについて企業への依頼を行います。

【関連施策：第4章スポーツ振興施策】

- 1 「する」スポーツの振興⇒（1）生涯にわたりスポーツに親しめる環境の充実
 - ⑤スポーツ情報の提供充実
- 2 「みる」スポーツの振興⇒（1）スポーツ観戦機会の充実
 - ①模範試合や指導会の開催
 - ②ハイレベルな試合の開催支援
 - ③地元のトップレベル選手・チームの紹介
- 4 「ささえる」スポーツの振興⇒（2）ボランティアをはじめとする各種協力の拡大
 - ②スポーツ団体、企業等からの協力拡大
- 6 スポーツ団体等の育成・支援⇒（1）スポーツ団体等の育成・支援
 - ①ホームチームサポーター事業の創設

重点施策3 オリンピック・パラリンピックに関連した 取り組み

東京2020オリンピック・パラリンピックは、人々に夢や感動を与えてくれる世紀の一大イベントであり、間近に一流の選手を観ることができる絶好の機会となります。開催気運の向上による大会成功への貢献、市民のスポーツへの興味・関心の向上のため、大会に関する情報の周知や出場選手の紹介、交流機会の創出などに努めます。

組織委員会が作成する事前キャンプ候補地ガイドへの掲載や、姉妹都市協定を結んでいる都市を仲介しての交渉などによる事前キャンプ地誘致に努めます。

【関連施策：第4章スポーツ振興施策】

7 オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツの振興⇒(1) オリンピック・パラリンピックなどの開催気運と関心の向上

- ① オリンピック・パラリンピックなどの開催気運の向上
- ② スポーツに対する関心の向上

【東京2020オリンピック・パラリンピックについて】

東京2020オリンピック・パラリンピックは、平成25年9月7日、アルゼンチン・ブエノスアイレスでのIOC（国際オリンピック委員会）総会において、イスタンブール、マドリードとの投票の末に開催が決定しました。

東京の2020年大会への立候補は平成23年7月に表明したのですが、2016年大会の招致にも参加しており、その経験の上に今回の招致が実現したものであり、2016年大会の招致活動から合わせて8年の取り組みが実を結んでの開催になります。

東京2020オリンピック・パラリンピックは、「スポーツには世界と未来を変える力がある。」をビジョンに掲げ、「全員が自己ベスト」「多様性と調和」「未来への継承」の3つの基本コンセプトのもと行われます。開催は、オリンピックが2020年7月24日～8月9日、パラリンピックが2020年8月25日～9月6日の期間で行われます。

日本でのオリンピックは、夏季大会では前回の東京大会以来56年ぶり、冬季大会も含めても長野大会以来22年ぶりになります。自国開催でのオリンピック・パラリンピックはスポーツに対する関心を高める絶好の機会であり、本市としてもオリンピックを契機にスポーツ振興を図るための取り組みを推進していきます。